

## 心理学系報告 (2011. 3. 31～2011. 9. 30)

### I 人事異動

2011年 3 月 31日

坂本 敏郎 助教                      転出 [筑波大学教育イニシアティブ機構]

2011年 4 月 1 日

江口めぐみ 特任助教              就任 [筑波大学準研究員]

大島 由之 特任助教              就任 [筑波大学準研究員]

佐藤 広英 特任研究員              就任 [筑波大学準研究員]

藤 桂 特任助教                      就任 [筑波大学準研究員]

### II 学系構成員 (2011年 9 月30日現在)

研 究 領 域											
		実 験		教育・認知		産業・社会		発 達		臨床・相談	
教 授		一谷 幸男	服部 環	岡田 昌毅	大川 一郎	石隈 利紀					
		小川 園子	原田 悦子	松井 豊	櫻井 茂男	小川 俊樹					
			茂呂 雄二	吉田富二雄	濱口 佳和	小玉 正博					
						藤生 英行					
准 教 授		綾部 早穂	外山 美樹	湯川進太郎	安藤 智子	青木佐奈枝					
		加藤 克紀			佐藤 有耕	杉江 征					
		山田 一夫				田中 輝美					
講 師											
助 教											
特 任 助 教											
特任研究員											
準 研 究 員											
内海奈緒子											

## Ⅲ 心理学系教員指導論文題目一覧

## 1. 2010年度 博士論文

## (1) 課程博士

氏 名	論文題目	指導教員
心理学専攻		
相羽 美幸	大学生の恋愛における問題状況と恋愛スキルの構造	松井 豊
荒井 崇史	犯罪情報への接触が犯罪不安に及ぼす影響	吉田富二雄
川上 直秋	閾下単純接触が潜在認知に及ぼす効果—刺激の多様性と接触の累積—	吉田富二雄
小浜 駿	大学生における先延ばしの意識過程の分析	松井 豊
ヒューマン・ケア科学専攻		
岩佐 和典	成人愛着理論からみたロールシャッハ材質反応の産出過程に関する研究	小川 俊樹
三鈷 泰代	幼児期の子どもをもつ親の養育スキルに関する研究	濱口 佳和
田中 真理	日本人高齢者におけるサクセスフル・エイジングの構造と機能に関する検討	大川 一郎
藤里 紘子	首尾一貫感覚 (Sense of Coherence) に関する心理学的研究	小玉 正博
感性認知脳科学専攻		
中易 知大	ラットにおける敗北後の不安亢進に対する社会的緩衝効果の心理学的研究	加藤 克紀
津田夢芽子	Effects of early life stress on the development of social behavior in mice	小川 園子
生涯発達科学専攻		
関谷 大輝	感情労働における勘定処理プロセスおよび介入方略に関する検討	湯川進太郎
道谷 里英	大卒若年就業者のキャリア発達プロセスと影響要因に関する研究	岡田 昌毅

## (2) 論文博士

氏 名	論文題目	指導教員
樫村 正美	自他への破壊的行動理解としての感情抑制に関する心理学的研究	小川 俊樹
高瀬 堅吉	ラットの放射状迷路学習および海馬アセチルコリン系の性差出現に及ぼす思春期後の餌形状の影響	一谷 幸男

## 2. 2010年度 修士論文

## (1) 人間総合科学研究科

氏 名	論文題目	指導教員
心理専攻 心理基礎コース		
中野 詩織	香り選好時の行動特徴の検討—多肢選択の文脈と嗅ぎ時間の観点から—	綾部 早穂
山本真麻子	触覚によるパターン認知の転移と般化	綾部 早穂
兪 善英	消防職員のストレス開示に関する研究—親しい他者への開示を中心に—	松井 豊
渡辺 伸子	お金に対する信念が対人印象評定に与える影響	佐藤 有耕
成田 恭代	否定的感情を伴う自己呈示 —心理過程の3段階と役割期待感との関連から—	松井 豊
心理専攻 心理臨床コース		
安彦 真実	対人感受性と適応との関連の検討	濱口 佳和
梅田 知子	大学生のメンタルヘルス・リテラシーに関する研究 —抑うつ傾向およびメディア利用との関連—	望月 聡
可児佳奈子	大学生アスリートにおける自己価値の随伴性が 心理的競技能力および精神的健康に及ぼす影響	杉江 征
熊澤 詩織	幼児期の子どもに対する親の心理的コントロールに関する研究	濱口 佳和
黒田 卓哉	“しなければならぬ行動”が阻害されるとき—状況、競合する選択肢—	望月 聡
関口 雄一	児童における関係性攻撃の認識についての研究	濱口 佳和
中谷 隆子	日常的フォーカシング態度と精神的健康との関連	杉江 征
服部 真人	衝動的怒り状態とその関連要因の検討 —いわゆる「キレ」時の意識に着目して—	小川 俊樹
堀田 亮	挫折体験の意味づけが自己概念に与える影響—同化と調節の観点から—	杉江 征
山岸あやの	対処的悲観性のメカニズムの検討—熟慮の機能に着目して—	望月 聡
感性認知脳科学専攻		
荒井 美咲	ラットの自発的場所再認における海馬グルタミン酸受容体の役割	山田 一夫
仲田真理子	The role of CLICK-III in the regulation of socioemotional behavior	小川 園子
生涯発達専攻 カウンセリングコース		
笹峯 幹乃	救急隊員の職務ストレスと惨事ストレス	松井 豊
石井 直美	職場における妬み対処方略と心理的ストレス反応との関連	田中 輝美
板垣 市子	中学校教師の生徒に対する過剰な援助に関する研究	石隈 利紀
井上 花子	日本語学校で学ぶ留学生の欠席行動の関連要因の検討	藤生 英行
大鐘 要	更正施設従事者の職務に対する意識と抑うつとの関連	安藤 智子
大喜多純子	発達障害児の母親の育児ストレスコーピングが自己成長感に及ぼす影響 —健常児の母親との比較—	藤生 英行
大迫 淳子	中途退職した既婚女性の再就業選択に影響する心理的要因	大川 一郎

櫻井恵里子	大企業経営者のキャリア支援意識形成のプロセスについて	岡田 昌毅
小川 妙子	—仕事、職業キャリア発達、心理・社会的発達の考察から—	藤生 英行
尾身祐美子	心理援助職自己効力感尺度作成の試み	
	—組織に関わる心理援助職の役割と連携—	
糟谷 充子	ソーシャルスキルが職場における養護教諭の	田中 輝美
加藤みゆき	心理的ストレス・プロセスに及ぼす影響	
	従業員の内的要因が職場における心理的契約の生成に与える影響について	小玉 正博
鎌田 久子	日本語教育機関に在籍する留学生のソーシャルサポートと適応に影響を	田中 輝美
	及ぼす援助に対する構えについての研究—ピアのサポートに注目して—	
黒田由美子	食事づくり効力感が食事づくり行動に及ぼす影響について	小玉 正博
桑原 裕子	—食事づくり効力感尺度の開発を通して—	
金子多喜子	母親の育児不安軽減及び孤立化防止への乳児家庭訪問の効果	安藤 智子
鹿野あゆみ	中年期女性の人生上の決断と主体性について	松井 豊
篠崎 哲雄	対患者関係において知覚される看護師の感情不協和に関する研究	小玉 正博
常盤梨矢子	通級指導における児童への援助～不登校傾向の児童に焦点をあてて～	石隈 利紀
林 由紀子	プロジェクト・マネジャーの省察とプロ意識の関係	岡田 昌毅
平山 恵	児童養護施設と中学校の連携の実態と施設児童の学校生活	安藤 智子
村上 和子	自立援助ホームにおける自立過程と自立要因に関する研究	大川 一郎
山本 陽一	ルワンダ虐殺後の HIV 感染者の心理	松井 豊
川井百合香	IT 系技術者チームのチーム・エンパワメントに影響を与える要因	岡田 昌毅
	ボランティア活動を行う中高生の心理過程	松井 豊
	高齢者福祉施設における介護職の	
	管理職忌避傾向に影響を与える要因の検討	大川 一郎

## (2) 教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻

氏 名	論文題目	指導教員
東 功司	高校進学動機が高校生の学習動機、 進路選択に対する自己効力感に及ぼす影響	櫻井 茂男

## 3. 2010年度 人間学類心理学主専攻 卒業論文

氏 名	論文題目	指導教員
阿部 恭祐	集団活動においてまじめな人が不真面目な人に対して感じるストレス	佐藤 有耕
安東 結実	“ゆるいつながり”を探る ～Twitter が生み出すつながりのあり方～	茂呂 雄二
市川 玲子	依存性・境界性・回避性パーソナリティ障害傾向間の共通点と相違点	望月 聡
	—対人依存性の観点から—	
伊藤湖太郎	ストリートダンスにおける優れた作品とは何か	服部 環
	—ダンサーの意図と視聴者の評価に着目して—	
今坂雄一郎	障害者への支援・交流の意欲及び行動についての研究	外山 美樹
	—意欲-行動間のずれと個人的要因の関係—	
上野 一樹	ラットの恐怖条件づけの消去に及ぼす条件づけ-消去期間の効果	山田 一夫
上野 美穂	大学生における「キャラ」を介した友人関係の分析	佐藤 有耕
馬詰 景子	パーソナリティ特性および不眠傾向と	湯川進太郎
	パラノーマルビリーフの関連性についての検討	
興津 隆雄	近交系マウスにおける奥行き知覚の検討	加藤 克紀

小俣 匡平	他者の言動を KY と感じるパーソナリティ特性について —攻撃性, 共感性, 公的自意識に着目して—	外山 美樹
折笠 紀恵	声質による感情判断に及ぼす共感性の影響	櫻井 茂男
甲斐壮太郎	固定間隔スケジュールを用いた近交系マウスの衝動性の検討	加藤 克紀
柿本 綾香	青年期におけるインターネット依存傾向の要因の検討	佐藤 純
金網 佑香	関係性攻撃加害に対する道徳的判断	濱口 佳和
小池 留巨	日常生活における刺激欲求と精神的健康との関係	藤生 英行
小林 拓矢	大学生における退屈感対処に關係する要因の検討 —時間的展望と刺激希求性に着目して—	小川 俊樹
小林麻里子	雄マウスの攻撃行動発現基盤としての脳内アンドロゲン受容体の解析	小川 園子
佐越 祥子	マウスの社会的認知に果たすオキシトシン受容体の役割	小川 園子
佐藤 逸美	乳幼児を持つ父親の育児参加が仕事への動機づけに及ぼす影響	櫻井 茂男
島田 葵	閾下単純接触における感情状態の効果 —音楽聴取による抑うつ気分喚起を通して—	吉田富二雄
関 那積	無表情から読み取る感情の特徴	綾部 早穂
高川 悠	幼児をもつ父親・母親の育児自己効力感の検討 —子どもとの関わりをふまえて—	濱口 佳和
高野満里加	親の過干渉・過保護の養育態度と子の心理的特徴との関連	佐藤 有耕
高橋なつみ	青年期の山アラシ・ジレンマと独自性欲求並びに 友人とのつきあい方の関連	濱口 佳和
蛸島 一喜	理不尽な出来事に対する行動傾向と独自性・相互協調性との関係	杉江 征
田中明日見	「私には超能力がある」という信念形成に関する実験的検討	湯川進太郎
中條 由衣	反復テストとフィードバックのタイミングが長期記憶に及ぼす影響	綾部 早穂
辻 睦美	大学生の睡眠状況と充実感との関連—睡眠機能の捉え方の観点から—	杉江 征
津島摩由翔	大学生における性役割観及び性役割葛藤と自尊心との関連	外山 美樹
成毛 里奈	青年期の恋愛関係において「結婚の話」を すること・されることによる影響	佐藤 有耕
野島 孝信	モニターを通した“アイコンタクト感”に影響を与える要因	綾部 早穂
羽生 真理	知的障害者への受容的態度の形成に影響を与える要因の検討 —中学生を対象にして—	佐藤 純
樋口 晴香	新生仔期 NMDA 受容体遮断ラットの放射状迷路学習： 参照記憶と作業記憶の検討	一谷 幸男
姫沼 琴音	ニオイが人物の印象に及ぼす影響 —“温かい”ニオイは信頼感を高めるか？—	綾部 早穂
平野 愛弓	養育行動に関する信念と実際の養育行動との不一致が親子に及ぼす影響	濱口 佳和
平野 美沙	マインドフルネス瞑想の怒り低減効果に関する実験的検討	湯川進太郎
藤 吾郎	三次の積率を用いた単回帰分析における標準誤差の精度	服部 環
星野 佑二	現代青年における新しい活動に対するマンガの影響	茂呂 雄二
細井 竜成	マウスの移動活動に対する迷路内隔壁の位置と数の影響	加藤 克紀
堀部 勇氣	自己評価脅威場面における自己概念の自己修復性	小玉 正博
丸山 多恵	私が選んだものはいいとこづくめ—記憶の選択支持バイアスの検討—	綾部 早穂
溝渕 純平	大学生の居場所感と充実感が未来展望に及ぼす影響 —進学動機, 大学からのサポート及び樂觀性との関連から—	小玉 正博
宮城 佐江	統合失調型パーソナリティ障害傾向と妄想の 心理的メカニズムが TAT 反応に及ぼす影響	望月 聡
門馬 福哉	恋愛への強制圧力感の規定因	松井 豊
安永 亮	嗅覚の単純接触効果—ニオイの閾下・閾上呈示と接触回数の関係—	綾部 早穂

夕田 哲也	強制および不安緩和教示が課題遂行に及ぼす影響 —二種類の遂行目標の組み合わせの効果を中心に—	櫻井 茂男
渡邊 昭良	高所場面での認知と身体反応	望月 聡
渡邊 麻衣	聴覚刺激が課題成績と課題遂行時の認知・感情に及ぼす影響 —ノイズ感受性と不注意傾向による個人差の比較—	望月 聡
黄 曉薇	ニオイによる味の促進効果—塩味への感度に着目して—	綾部 早穂
カン ボラ	衝動買い後の満足度と後悔に関する研究 —セルフ・コントロールの視点から—	小川 俊樹
石川 潤子	ラットの恐怖条件づけにおける消去の般化： 再固定期間中の消去と DCS の効果	山田 一夫
柿崎美智子	マウスの社会的探索行動に関する研究	小川 園子
野田 順子	人は無意識にストーリーを読みとれるのか —閾下刺激の系列呈示を通して—	吉田富二雄
根岸佳奈子	映像における対位法的な BGM に関する心理学的研究	湯川進太郎
横山 利行	ゲーム行動と大学生活の適応度との関連	佐藤 有耕

#### IV 2010年度各種表彰など

氏 名	受賞名	受賞対象論文・発表題目名（掲載誌），または受賞理由
心理学系		
○綾部 早穂	2010年度におい・かおり環境協会学術賞 (社団法人におい・かおり環境協会, 2010年 5 月)	におい・かおりに関する一連の論文，著書等が特に優れた個人として，表彰を受けた。
○江口めぐみ	第17回上武学術奨励賞 (筑波大学心理学系，2010年 9 月)	江口めぐみ・濱口佳和 (2009). 児童の主張における「他者配慮」尺度の作成および主張性の類型化の試み カウンセリング研究, 42, 256-266.
○小玉 正博	平成22年度日本心理学会優秀論文賞受賞 (日本心理学会，2010年 9 月)	Ishimura, I., Kodama, M. (2009). Flow experiences in everyday activities of Japanese college students: Autotelic people and time management Japanese Psychological Research, 51, 47-54.
○藤 桂	第 2 回心理学独創研究内山記念賞 (筑波大学心理学系，2010年 9 月)	藤 桂・吉田富二雄 (2009). インターネット上での行動内容が社会性・攻撃性に及ぼす影響：ウェブログ・オンラインゲームの検討より 社会心理学研究, 25, 121-132.
○望月 聡	第13回長谷川賞 (日本高次脳機能障害学会，2010年 11月)	近藤正樹・望月 聡・小早川陸貴・鶴谷奈津子・河村満 (2009). 側頭葉型 Pick 病 (意味性認知症) における行為表出・行為理解障害 高次脳機能研究, 29, 268-276.
○松井 豊	2010年度 Best Faculty Member (筑波大学，2011年 3 月)	筑波大学の大学教員業績評価により，極めて優れた活動を行った教員として，学長表彰を受けた。

## 心理学専攻

- 伊藤真利子 財団法人 吉田秀雄記念事業財団第44次研究助成  
(財団法人 吉田秀雄記念事業財団, 2010年4月) 「商品選択に関する記憶の検索バイアス」が採択され、研究助成金50万円を受領した。
- 荒井 崇史 国際会議等参加旅費補助金  
(日本心理学会, 2010年5月) The effects of personal interaction on seeking information about crime prevention measures. 27th International Congress of Applied Psychology (Melbourne), 1607.
- 川上 直秋 研究の国際化支援制度  
(日本グループ・ダイナミックス学会, 2010年5月) How do implicit effects of subliminal mere exposure become explicit?: Mediating effects of social interaction. が採択され、研究助成金5万円を受領した。
- 荒井 崇史 社会安全研究財団2010年度若手研究助成  
(社会安全研究財団, 2010年6月) 「犯罪情報が犯罪不安・リスク認知に及ぼす影響—他者との会話の影響力—」が採択され、研究助成金100万円を受領した。
- 村上 達也 国際会議等参加旅費補助金  
(日本心理学会, 2010年7月) The Structure of Attachment Mental Model in Middle Childhood. 27th the International Congress of Applied Psychology (Melbourne), 1350-1351.
- 相羽 美幸 平成22年度若手研究者育成事業・つくばダイヤモンド研究奨励費  
(筑波大学研究推進部, 2010年8月) 「交際相手からの暴力 (dating violence) において反復的な被害をもたらす要因—被害者の認知に着目して—」が採択され、研究助成金40万円を受領した。
- 川上 直秋 第8回助成研究吉田秀雄賞  
(財団法人 吉田秀雄記念事業財団, 2010年11月) パターンの異なる広告への反復接触が商品の好感度に及ぼす効果—潜在的測定方法による蓄積的效果を踏まえた心理学的検討— 第8回助成研究吉田秀雄賞受賞研究集, 27-40.
- 川上 直秋 平成22年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理学専攻長賞,  
平成22年度筑波大学大学院人間総合科学研究科長賞  
(筑波大学, 2011年3月) 関下単純接触が潜在認知に及ぼす効果—刺激の多様性と接触の累積— 平成22年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理学専攻修士論文

## 感性認知脳科学専攻

- 津田夢芽子 平成22年度筑波大学大学院人間総合科学研究科長賞  
(筑波大学, 2011年3月) Effects of early life stress on the development of social behavior in mice. 平成22年度筑波大学大学院人間総合科学研究科感性認知脳科学専攻博士論文

## 生涯発達科学専攻

- 関谷 大輝 第18回大会優秀発表賞  
(日本感情心理学会, 2010年5月) 関谷大輝・湯川進太郎 (2010). 携帯電話のEメールを活用した感情開示効果の検討—感情労働を行う現職の社会人を対象に— 日本感情心理学会第18回大会発表論文集, 182.
- 関谷 大輝 第17回上武学術奨励賞  
(筑波大学心理学系, 2010年9月) 関谷大輝・湯川進太郎 (2009). 対人援助職者の感情労働における感情的不協和経験の筆記開示—心理学研究, 80, 295-303.

- |        |   |   |
|--------|---|---|
| ○関谷 大輝 | 平成22年度筑波大学大学院人間総合科学研究科長賞<br>(筑波大学, 2011年3月) | 感情労働における勘定処理プロセスおよび介入方略に関する検討, 平成22年度筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達科学専攻博士論文 |
|--------|---|---|

#### 心理専攻

- |        |  |  |
|--------|--|--|
| ○中野 詩織 | ACChemS Student Travel Award<br>(米国化学受容学会, 2010年, 4月)                        | Behavioral characteristics when smelling odors and making selections. Association for Chemoreception Sciences (Florida). |
| ○関口 雄一 | 発達科学研究教育奨励賞<br>(発達科学研究教育センター, 2010年8月)                                       | 「幼児の不安傾向とその関連要因の検討—不安傾向の変化と乳幼児期の子どもの気質・養育者の養育行動との関連—」が採択され, 研究助成金50万円を受領した。  |
| ○堀田 亮  | 平成22年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻長賞<br>(筑波大学, 2011年3月)                              | 挫折体験の意味づけが自己概念に与える影響—同化と調節の観点から— 平成22年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻修士論文  |
| ○成田 恭代 | 平成22年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻長賞,<br>平成22年度筑波大学大学院人間総合科学研究科長賞<br>(筑波大学, 2011年3月) | 否定的感情を伴う自己呈示—心理過程の3段階と役割期待感との関連から— 平成22年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻修士論文  |

#### 心理学類

- |        |                                     |  |
|--------|-------------------------------------|--|
| ○関 那積  | 平成22年度筑波大学人間学群長賞<br>(筑波大学, 2011年3月) | 修学・教育活動, 課外活動において優秀な成績を修めた学生として表彰を受けた。 |
| ○平野 美沙 | 平成22年度筑波大学人間学群長賞<br>(筑波大学, 2011年3月) | 修学・教育活動, 課外活動において優秀な成績を修めた学生として表彰を受けた。 |